

道路管理は命にかかわります

厳格な管理で安全確保を

5月の29日の午後から3日間、吉川区内の道路の視察を行いました。今回の視察は、今春から市道管理の仕組みが民間委託方式に変わったことに伴い、実施したものの、視察の対象には市道だけでなく県道も入れ、道路や安全施設などの管理状況を中心に見て回りました。



管理状態はまずまずでした。冬場に起きた路面の傷みなどを手当てした直後ということもあってか、全体としては問題箇所は思ったより少ない目でした。しかし、問題がなかったわけではありません。すでに行政の担当も承知しているかもしれませんが、明らかに危険と思われる箇所がいくつかありました。その主なものは裏面に写真をのせておきました。(右の写真は竹直前沖線で路面の傷みがひどい所。大きさが分かるようにポールを置いてみました)

管工事をした所の路面のデコボコは抜本的な対策が必要

視察した期間は晴れの日あり、雨の日ありで、その日の天候で見えるもの、見えにくいものがありました。雨が降った31日は道路の路面のデコボコ状態を水のたまり具合でしっかり

確認できました。天林寺、片田、河沢など管工事をやった場所で痛みがひどかったですね。地元の人たちからは簡単な手直しよりも抜本的な対策をとってほしいとの声が寄せられました。

地元からの要望箇所はしっかりと説明を

この3日間の調査で残念だったことのひとつは、すでに地元町内会などから修繕要望が出ているにもかかわらず放置してある箇所がいくつもあったことです。これは県道、市道、どちらにもありました。なかには2年以上も経っているところがありました。おそらく一昨年の豪雨災害の時のものでしょう。管理者サイドでは、まだ大丈夫という危機認識なのか、それとも予算がないのか。いずれにしても、このままでは困る、危ないと思配している人たちに十分な説明をしていないと思いました。安全管理はもっと厳格にやってほしいものです。

いまひとつ、U字溝のグレーチングがなくなっているところがありました。これはカーブなど側溝に落ちる危険性のあるところに設置されているものです。除雪などで浮かせてしまったのであれば、近くに現物があってもいいはずですが、ありませんでした。これまで区内では明らかに盗難と思われるケースがあったということです。そうしたケースのひとつかもしれない。

調査したなかで問題があると判断したところについては、市民の命と安全に関わることから、31日、総合事務所の担当グループなどに

写真などの資料を送りました。速やかに対応していただきたいものです。

6月議会は5日から21日まで

6月定例議会の日程が決まりました。5日に議案説明、6日からは委員会審議、一般質問は12日からとなります。私が所属する文教経済委員会は8日午前10時からです。

一所懸命な姿に大きな拍手

先週の日曜日は吉川小学校の運動会でした。あいにくの強風でしたが、児童の保護者や家族の人などが大勢応援に駆けつけました。

競技種目では、児童だけでなく、途中から保護者が競技に加わった五色綱引きレースが注目されました。たいへん熱が入ったレースになりましたね。

1、2年生の50メートル走、5、6年生の100メートル走では、足が速かろうが、遅かろうが、一所懸命に走っている児童に盛んな拍手が送られました。

(写真は27日、吉小グラウンドにて撮影)





- 【写真上の左】入連坊線の崩れ。市道の半分は使用不能という状態が続いている。
- 【写真上の真ん中】尾神川谷線尾神地内。グレーチングがなくなっている。
- 【写真上の右】下川谷線。路盤の下がえぐられている。
- 【写真下の左】管工事をした箇所が陥没し始めている。天林寺村中線。
- 【写真下の右】西野島寺坪東線。側溝のふたの端と路盤の間が穴になっていて、コンクリートのかたまりが置いてある。



路肩が崩れ排水口がむき出しに。下川谷地内の県道。

2000人の聴衆を前に平和の訴え 親鸞聖人流罪800年記念大会で池田勇諦氏



気迫のこもった訴えが上越市の文化会館大ホールに響き渡りました。5月27日、真宗大谷派の「親鸞聖人越後御流罪800年記念大会」で同朋大学元学長の池田勇諦（いけだ・ゆうたい）氏の記念講演です。

池田氏はこの日の記念講演、「困難か法難か…親鸞聖人のご流罪に学ぶ」の中

で平和の大切さを力強く訴えました。

「戦争は戦争の顔をしてこないんです。じゃあ、どんな顔をしてやってくるのかとある人が質問されたので、私はこう答えました。『美しい国づくり』という顔をしてやってきますよと。『戦後レジームからの脱却』だなんておっしゃいますが、戦後体制の出発点は『戦争は再びしません』が出発点でした。そこからの脱却だなんて、黙ってられません。真宗門徒はお念仏の教えを受けている者として、しっかり監視していく必要があります。幸い、この800年の法要に合わせて参院選挙があります。主権者として、具体的な1票で表現しましょう」

池田氏は宗教界では有名人で、『いのちとひかり』（東本願寺伝道ブックス）など多くのベストセラーの著者でも

あります。池田氏は昨年、教育基本法の改悪問題でも「（新基本法で）まことの教育、豊かな人間の育成がなされるとは到底考えられない」と批判していました。

市道尾神北線改良舗装工事が完工

2007年の親鸞聖人の記念行事などで注目されている報尽碑に至る市道尾神北線の工事がこのほど終わりました。全線がコンクリート舗装で仕上げられ、白く広い道になりました。

1883年（明治16年）3月12日に雪崩が発生し、27人も犠牲者を出した現場では、駐車してお参りできるスペースもつくられました。報尽碑下の駐車場からは、親鸞聖人が800年前に上陸したとされる居多ヶ浜も望むことができます。多くの人たちがここを訪れてくださるといいですね。

ところで、先月の27日、真宗大谷派宗務総長の熊谷宗恵氏など関係者6人が報尽碑を訪ね、お参りをされました。一行は親子3人が犠牲になった尾神の杉田順作さん宅も立ち寄り、お参りされています。

（写真は雪崩の現場付近）

